

研究課題名	中皮腫の遺伝子変異に基づく診断法の問題点と進歩に関する調査
研究期間	2025年1月8日～2027年3月31日
研究の対象	2015年1月1日から2022年12月31日までの間に、胸膜中皮腫に対して広島大学病院にて胸膜肺全摘術（EPP）あるいは胸膜切除/肺剥皮術（P/D）を受けた方。
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>① BAP1, MTAP 免疫染色の代表的な各自動免疫染色装置における最適条件を明らかにする</p> <p>② Merlin 免疫染色の有用性と問題点について多施設共同研究にて明らかにする</p> <p>研究の方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この研究は福岡徳洲会病院を代表機関とする多施設共同研究です。</li> <li>対象となった患者さんの病理検体と診療情報を提供します。</li> <li>提供された情報および病理検体から病理診断の妥当性を確認し、診断が確実であれば、提供した病理検体を使用して福岡徳洲会病院・病理診断センターにて免疫染色（BAP1, MTAP, Merlin 蛋白）を行います。</li> </ul>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：① 患者基本情報（年齢、性別、臨床経過、職業歴）、② 疾患情報（疾患名、手術名、画像診断、免疫染色の結果、治療内容、予後）、③ 画像検査所見（XP、CT、MRI）</p> <p>試料：病理検体（ホルマリン固定・パラフィン包埋組織）</p>
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日以降（2025年1月）
個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>試料・情報は研究に使用する（代表機関に提供する）前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で使用（提供）します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。</li> <li>試料・情報は、広島大学病理学研究室あるいは福岡徳洲会病院・病理診断センター内の施錠された保管庫、あるいはワイヤーロックにより固定され、パスワードロックにより保護されたメディアで保管します。</li> </ul>
外部への試料・情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報は、パスワードロックを施した Word あるいは Excel ファイルを、電子メールを用いて送信します。</li> <li>試料は郵送にて送付します。</li> </ul>
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 病理学 教授 武島幸男</p> <p>研究機関の長 広島大学理事 田中純子</p> <p>研究代表者 福岡徳洲会病院・病理診断センター センター長 鍋島一樹</p>

	<p>共同研究機関  東京女子医科大学八千代医センター・病理診断科  登録医 廣島健三  福岡大学医学部病理学講座/福岡大学病院・病理診断科  教授 濱崎慎  奈良県立医科大学病理診断学講座 准教授 武田麻衣子  がん研究会有明病院病理部 主任研究員 二宮浩範  国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床検査部  部長 清水重喜</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  Tel : 082-257-5152  広島大学大学院医系科学研究科 病理学研究室 助教 櫛谷 桂</p>